

○テーマ回答件数 66件(計37名による回答)

大分類	分類	テーマ回答	取り上げたい理由
水環境 (24)	水質 (12)	水質	誰が何をどうすれば改善されるのか、具体につめられればと思う。
		水質と産業観光	人が集まり、産業観光が多くなると自然と水質が悪くなり、ゴミ等も増える。水質保全と観光を考えてみては。
		水質浄化	飲料水、濁りの問題、KHVなど重要
		水質	住民参加型の水質改善への取り組みに興味あるから。
		霞ヶ浦の浄化能力の復元(逆水門の運用)	逆水門を8門全開にすると塩分が上がりすぎるが、1、2門開けるとちょうど良い干潟ができて、砂浜が復元し、植生が回復してくる。水の浄化能力がしだいに上がってくる。
		水質改善	1.家庭・事業所の雑排水の道路側溝への放流の排除の徹底(道路管理者の責任)他の部門の非難、要求よりもまず自分の改善が先決。2.水田を利用した水質浄化の促進(田淵先生の理論の発展)
		水質	水質の浄化対策をどの様にしたら良いか。
		水質改善に向けて住民として出来ること	各市民団体等ではなく、一般の人たちのモラルの改善をしなければ、水質改善はなされない。
		水質浄化	家庭からの排水が大きな問題と考えます。
		水質	白濁、赤潮など昨今の霞ヶ浦が変だ!
		水質、EM石けんの推薦	湖水浄化
		菱木川へEM活性液投入。(水が温む頃)	水質浄化
	水質(白濁) (2)	白濁について	現状と分析: 予測されていること 水利用(水道水源)としての考え方
		霞ヶ浦透明度低下と白濁について	—
	水道水 (5)	海水の淡化とより安全な水源	上水道用に淡水を使用すれば、浄化後の水は霞ヶ浦に流入する水量の増加となる。
		上水道用水を霞ヶ浦水から河川水へ	安全な水道水を81万人へ配水するために。
		将来にむけて水道水として使用する技術的問題の可能性	—
		安全な飲料水	導水事業は当面、上水確保の目的で那珂川の水を一方向的に利用する。上水として利用したあとは、最終的には霞ヶ浦に流れ込むため、直接霞ヶ浦に導水して、その後上水として霞ヶ浦から取水するよりも有効に使える。
		飲料水源としての霞ヶ浦を考える(安心安全な水をもとめて)	今の急速濾過から緩速濾過にした場合その他の試みで安心安全な水が確保できるのか。市民を交えて検討会を。
	砂浜 (2)	砂浜・再生について	—
		霞ヶ浦での砂浜造成について	情報の共有と合意形成が必要な為“砂浜”から見えてくるものが多い為。
	水環境	水環境について	—
	コイヘルペス	コイヘルペスについて	現状と分析: 予測されていること 水利用(水道水源)としての考え方
	底泥浚渫	霞ヶ浦の堆積ヘドロ浚渫事業の効果について	過日、新聞で茨大某教授の退官講演でヘドロ浚渫はマイナスに働くと云う記事を読みました。詳しい内容がなく、本音を知りたいと思います。学識者の反論を混じえて意見が聞きた

大分類	分類	テーマ回答	取り上げたい理由
住民活動 (12)	環境教育・ 住民参加 (8)	小中学校での環境教育の実態を知りたい	家庭や学校での環境教育が後々の効果がある。その必要性和実践校を知ることにより行為の拡大を図る。ごみ処理、家庭排水の有り方を身につけさせたい。
		環境再生プロジェクトを定着させる。(流域市民の意識改革の実践)	流域の市民に環境負荷の罪悪感の認識をさせるために具体的かつ効果的行動を皆で模索する。
		環境教育・住民参加	環境教育を受けた人でなければ住民参加が出きないような風評になっているが、それがまちがっている、との教育をしてほしい。
		環境教育・住民参加	行政とNPO等との連携のあり方に興味あるから。
		水質汚染防止意識の地域住民へのPR	—
		住民参加	環境改善のための大清掃会等について行政(市町村)や学校が町内会・子供会等を通じてのPR・参加による水質浄化の必要性の徹底を図る。
		環境教育・住民参加	ゴミ拾いをしよう!
		順応管理とモニターに関する市民参加のあり方について	霞ヶ浦は自然再生・回復の段階にある。この指針を得るためには1.科学的な証明2.合理的なデータ3.市民の協力がいる。これらのあり方を方向づける。
	情報共有 (4)	情報公開による環境再生 情報共有の進め方とルール	霞ヶ浦の環境負荷の原因を公開し、その原因者と討論す 認識情報のベースを今後とも一致させることが大事。 白濁、透明度の低下は原因が解明されてからとすべき。科学的に未解明の項目を議論するのではなく、その後の世界(対応方針、協力体制、目標etc)を議論すべき。
		メディアの共有(IT)を増やす。	—
		情報共有	第一の理由は「水情報国土」の説明責任です。WebGIS、古い写真等が国と地域社会との間でどのように共有され、今後の河川行政に活かされるかを考えることが21世紀にふさわしいフレーム作りとなります。
		産業	第一の理由は「水情報国土」の説明責任です。WebGIS、古い写真等が国と地域社会との間でどのように共有され、今後の河川行政に活かされるかを考えることが21世紀にふさわしいフレーム作りとなります。
産業 (8)	農業 (3)	農業について	農業に直接従事している人の話が聞きたい。
		流域農業の現状、湖への負	ぜひ必要。農業県「いばらき」として科学的な分析を。
		地場産業を豊かにするためには!	農業(水田耕作)に対して、目を向けて欲しい! 農業後継者たちの『地産地消』に力を入れていることは…『水質浄化』に繋がる方策…住民の意識の高揚にもなる。
	漁業 (2)	霞ヶ浦における漁業(と他産	漁業をどう支えるかが、緊急の課題である。
		流域の住民の霞ヶ浦漁業の	流域にとって必要性の程度、住民はどう考える。こんなことはやられた集会がない。
	産業・観光	産業・観光	霞ヶ浦で水以外を利用した産業を作り出してほしい。
		観光の内でも、湖岸開発	他にほこれる霞ヶ浦になってもらうために何を作るといことを仮定して行う。
鯉養殖	鯉養殖の今後について	水質も含めて重要	
生態系 (6)	生態系 (2)	生態系	環境ホルモンの影響が不安である。(飲料水である)
		生態系	霞ヶ浦は水、水の中での生きもの、魚、地域住民と魚のかかわり、水辺と景観、前浜。
	自然再生 (2)	霞ヶ浦における自然再生	自然再生事業の推移を評価する必要がある。
		霞ヶ浦沿岸帯の自然再生に関するマスタープランの展開について	マスタープランが市民に明示されていない。1.100年後2.20~30年後3.当座の狙いである10~5年後のあり方についてマスタープランを試作する。
	外来種	外来種対策について	霞ヶ浦・北浦の生態系に大きく影響を与える問題だから。
水位	水位管理について	霞ヶ浦・北浦の生態系に大きく影響を与える問題だから。	

大分類	分類	テーマ回答	取り上げたい理由
その他 (16)	意見集約・ 合意形成 (2)	意見交換会における意見集約のあり方について	意見交換会での意見を集約する手法、手順などを水位、生態系などの課題別に検議する。実施可能な方策をまとめ
		意見交換会におけるPCM手法の導入について	異なる市民参加での合意形成には、その過程でプロジェクトサイクルの評価をして、異なる意見の位置づけを明示する必要がある。問題解決のための学習である。
	水郷筑波 国定公園 (2)	水郷筑波国定公園	新しく妙岐の鼻と和田浦が水郷筑波国定公園に指定されている。これを機会に意見交換して欲しい。
		水郷筑波国定公園と霞ヶ浦	今年の秋、妙岐の鼻と浮島周辺が国定公園に追加される。国定公園を前面にだした霞ヶ浦のPR、国交省、環境省、茨城県、市町村の共同のPRは不可能か。
	事業評価	行政の事業評価(水門、浚渫等)。市民側の活動評価、検	-
	その他 (11)	沿川自治体の取り組み方(湖の浄化に対して)	湖がきれいにならないため
		水位・生態系・水質・産業観光	問題の相互関係を考えるため、フレームワークづくり。どのテーマを話しても必ず他のテーマが話題になる。全体の関係性の議論は必ず必要。
		霞ヶ浦流域に点在する神仏関係表からの霞ヶ浦に対する認識を聞く。 農業関係者、工業用水として利用している関係者の意見を多く取り入れる。	-
		ゴミ投棄監視員の権限と身分保障	現地視察をしながらの意見交換には開催前後全員でゴミひろいをする。
		行う必要なし	-
		ソダ消波工の是非について	-
		霞ヶ浦と流入河川	生態系や自然、環境等の霞ヶ浦との関係
		国内外の湖沼周辺住民との交歓	世界各地での湖沼と人間生活の関わりを知るため
		“泳げる霞ヶ浦”とは何か	イメージの共有化と科学的理解の為他の様々のテーマと関連するよい課題と思います。
		環境目標とその検証方法の設立	湿地保全・再生と環境(水位・生態など過去7回であらわれた構成要因)を主体として、その整備水準等を実施可能なように提示する。
		高浜入りの自然を考える！	3/21(日)市民交流フォーラム…『高浜入り』について、特性をいかした地域づくりなど、もっと力を入れたものにとの要望が多くありました。

※分類の()は回答件数を示す